

発 言 通 告 書

発言者氏名	嘉山淳平
発言の会議	平成30年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 経済の活性化に向けた企業支援について

- (1) 市長の公約にも掲げられていた「横須賀経済の復活」における企業誘致について、具体的な実績が出ていない状況をどのように捉えているのでしょうか。
- (2) 経済センサスによると5年のうちに1,258もの事業所がなくなり、従業員数においても7,168名減ってしまっているゆゆしき事態となっています。中小企業の売り上げ向上につなげていくためには、一社一社に寄り添い、しっかりと結果にコミットしてコンサルティングすることが必要なのではないのでしょうか。本市がこれまで展開してきた中小企業支援のあり方を見直す必要性についていかがお考えでしょうか。
- (3) 「f-Biz」のような中小企業支援モデルでは、「お金をかけずに売り上げアップを実現するサポートを行う」ことをモットーに、売り上げアップに特化した無料の経営支援を行っています。「f-Biz」の実績としては9年間で延べ26,000件を超える相談が寄せられ、多数の新規事業や新商品など、売り上げアップの事例が生まれています。「〇〇-Biz」のような中小企業支援モデルのように、真に中小企業の売り上げ向上に特化したコンサルティングを実施する必要性についていかがお考

えでしょうか。

- (4) 同支援モデルでは、結果に応じた単年度契約とし、その緊張感が成果につながるよう制度設計されています。一方、本市の施策では、中小企業における実績までコミットできていないことは大きな課題です。各主体で展開している中小企業支援業務とそれに付随する予算を一度整理し、実績を見込める事業者を選定されてはいかがでしょうか。

2 広大な山林の有効活用について

- (1) 西武鉄道株式会社から取得した長坂5丁目等の約66ヘクタールの広大な山林の有効活用について、どのようにお考えか伺います。
- (2) 「フォレストアドベンチャー」や「スウィートグラスアドベンチャー」などが代表例として挙げられる自然共生型アウトドアパークは、自然環境を破壊せずに低コストで整備することが可能です。本市としても山林を有効活用していく上で、民間企業が展開する自然共生型アウトドアパークなどを誘致し、環境整備をすることも一つの選択肢として重要だと考えますが、いかがお考えでしょうか。

3 プラスチック製品による環境への悪影響について

- (1) レジ袋や発泡スチロール製食器など、使い捨てプラスチック製品が環境へ与える悪影響が顕著にあらわれています。鯨の腹部に大量のビニール袋が詰まっている光景や、ウミガメがビニールに絡まっている様子など、さまざまな被害のニュースを目にします。このようなプラスチック製品による環境への悪影響についてどのようにお考えでしょうか。
- (2) 海外では、多くの自治体で、プラスチック製品に対する規制を単独で定める動きが出てきています。近隣では、神奈川県においても本年9月に「かながわプラごみゼロ宣言」を掲げ、意識啓発を進めています。国の規制はないものの、自治体として独自に意識啓発や規制を行う事例がふえている動向を踏まえ、

その必要性についてどのようにお考えでしょうか。

4 親子の居場所・遊び場について

- (1) 子育て世代の方から「子どもと一緒に遊べる場所が少ない」「子どもとどこで過ごそうか毎日悩んでいる」という声を多く伺います。雨の日でも安心して親子で遊ぶことができる、過ごすことができる全天候型の場を本市に整備する必要性についてどのようにお考えでしょうか。
- (2) 今後、整備していく予定であるくりはまみんなの公園の代替地と想定している東側代替公園整備において、全天候型の遊び場を整備してはいかがかと考えますが、お考えをお聞かせください。
- (3) 青少年の家において、コミュニティセンターと重複している機能があることや、青少年よりも年輩の方々の利用が多い現状については、以前から疑問を感じてきました。子どもの居場所としての同施設のあり方についてどのようにお考えでしょうか。